

夢を持ち を育み を叶える

～大津町学校教育ビジョン基本理念～

保冷剤で熱中症対策

ようやく梅雨が明け、本格的な暑さの到来です。今朝の出勤時の校長室は、すでに30℃でした。

この暑さの中に子供たちが通学しますので、夏休み前後の10日間、熱中症対策として、毎日1コずつ各自に保冷剤を配布します。**下校時**にそれを首の後ろ辺りに巻いて熱さを和らげ、熱中症対策に役立てて欲しいという大津町からのプレゼントです。昨日、この保冷剤10日分の6500個と冷凍庫2台が届きました。冷凍庫は、職員室前の廊下に納め、我らがカメロンが番をしてくれています。今朝、この冷凍庫を見た子供たちは、興味津々。「何が入っているの？」アイスではないんです、残念ながら…。

さて、この保冷剤配布にあたって**2点**をお願いします。

①使い捨てです。持ち帰ったら恐れ入りますが各ご家庭で処分をお願いします

②首に巻くためのバンドナカハンカチ等をお持たせください。

8月3日(月)から配布します。



アンケートにご協力

先日、翔陽高校からのアンケートを配布しました。翔陽高生の研究の一環です。ご協力をお願いします。

Murofessional

(むろふえっしょなる)

vol.9

R2.7.30 文責：村田典子

～毎日・成長・実感～

「ウィズコロナ」の学校生活

1 感染防止対応へのご協力を

県内での感染が拡大しています。学校も集団生活の場。本校は、30人から40人を超える児童が一つの教室で過ごしていますから、クラスター発生の要素は十分あるという危機感を持って、教育活動に当たっているところです。机椅子の配置にも留意しながら、できる限りのソーシャルディスタンスを確保し、放課後は主な共用箇所の消毒等を行うなど、感染防止に努めています。が、マスクの着用がなかなか徹底しないのが、悩みの種…。なかなかマスク忘れゼロになりません。とてもとても残念です。。

クラスター発生の企業においては、「マスク着用が十分でなかった」ことが報道されていますが、マスクは自分や周りの人の命を守る大切なもの、という認識を持って欲しいと願いながら指導しています。

一昨日、バスキャッチでもお願いしたところですが、以下の3点について再度ご家庭でもご指導をお願いします。

- ①登校前に必ず検温する
- ②マスクを着用する（息苦しい時等の着脱は自己管理）
- ③発熱、体調不良の症状があるときは休む

なお、登校後に熱発等の症状がある際は、早退等の対応もありえます。

2 新型コロナウイルスの3つの顔～「3つの感染症」

また、このような感染拡大の状況において懸念されるのは、新型コロナウイルスに関連する差別や偏見です。日本赤十字社は、新型コロナウイルスがもたらす3つの感染症として、

- ①病気そのもの
- ②不安と恐れ
- ③嫌悪・偏見・差別

を示しています。（※引用参考：「新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう」日本赤十字社）

この中の②・③について、日本赤十字社の解説の一部を紹介します。

「②不安と恐れ」：このウイルスは見えません。ワクチンや薬もまだ開発されていません。分からないことが多いため、私たちは強い不安や恐れを感じ、振りまわされてしまうことがあります。（後略）

「③嫌悪・偏見・差別」：不安や恐れは人間の生き延びようとする本能を刺激します。そしてウイルス感染にかかわる人や対象を日常生活から遠ざけたり、差別するなど、人と人との信頼関係や社会のつながりが壊されてしまいます。

結びに、感染症に振り回されないための日本赤十字社からの3つの提案をご紹介します。

気づく力を高める **聴く力を高める** **自分を支える力を高める**

「ウィズコロナ」の生活は、まだまだ続きそうです。経験値では対応できないことも多い中ですが、室小の子供たちが心身ともに安心・安全で、居心地のいい学校生活を送れるよう、職員一丸となって取り組んでおります。保護者や地域の方のお知恵やご協力が大きな支えです。今後ともどうぞ宜しくお願いします。

